

# 令和元年度病虫害発生予察情報 予報第10号（11月）

令和元年11月15日  
発表：福島県病虫害防除所

## 1 野菜・花き

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	全域	－	やや少ない	発生ほ場割合は、平年よりやや低かった（－）。	多発すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底する。
	土壌病害 （萎黄病、炭疽病）	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年よりやや少なかったが（－）、一部で炭疽病の発生程度の高いほ場が確認されている（＋）。	発病株および発病が疑われる株は、見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出すなど適切に処分する。 なお、台風19号等による冠水被害にあったほ場では今後の被害拡大に注意する。
	アブラムシ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	ハダニ類	全域	－	やや多い	発生ほ場割合は、平年並であった（±）が、一部で寄生程度の高いほ場が確認されている（＋）。	①低密度時から薬剤防除を実施する。 ②抵抗性の発達が懸念されるので、殺ダニ剤の選択には注意する。 ③カブリダニ等天敵資材を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
	コナジラミ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。

### ○注意が必要な病虫害

イチゴ	<p><b>■チョウ目害虫</b></p> <p>ハスモンヨトウ等、チョウ目害虫による被害が散見されています。防除が遅れると被害が大きくなるので、被害株周辺を中心に防除を実施してください。</p>
-----	--

注) 予報の根拠の中で（＋）は多発要因、（－）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。